

当科における Trousseau 症候群の検討

当院では、以下の臨床研究を行っております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることで行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名：

当科における Trousseau 症候群の検討

研究の実施体制：

研究責任者：吉田 祥徳

研究の目的：

Trousseau 症候群は悪性腫瘍による血液凝固能亢進によって脳梗塞や様々な塞栓症を呈する全身疾患であり、多発転移を伴う進行癌で比較的良好に遭遇する病態である。発症頻度の多い癌腫としては肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌、卵巣癌、子宮体癌とされており、組織型としては腺癌が最多とされている。頭頸部領域における Trousseau 症候群の報告は少なく、渉猟し得た限り舌癌における Trousseau 症候群の報告は本邦では認められなかった。

そこで今回、当院における舌癌における Trousseau 症候群の発症の状況を把握するため調査してみた。

研究の方法：

当院において 2018 年 3 月から 2025 年 8 月までの間に Trousseau 症候群を発症した患者を、電子カルテより後方視的に調査し、原疾患、発症から死亡までの期間等を検討する。

個人情報の取り扱い：

お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は使用しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報はいっさい利用しません。

問い合わせ先：

日本海総合病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 吉田 祥徳

山形県酒田市あきほ町 3 0 番地 TEL：0234-26-2001（代）